

京都教区時報

第155号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

バングラデシュ報告



聖母の月と私

J・R・ジラール
(宮津教会主任司祭)

美しい若葉の、マリア様の五月がやって来ます。この一ヶ月をどう過そうかと思ひます。教会の中には、キリストだけで良いと言つて、マリア様を無視している信者が目立ちます。又、その反面、馬鹿みたいに熱狂的でマリア教と言われる程の熱心な者もいます。どちらが良いかわかりません。私は、両方とも極端すぎないかと思います。

十字架上で、そばに立っているマリア様に、教会の母になつてほしいとイエス様が頼んだ時、もつと違う姿を描いていたような気がします。その後のマリア様と初代教会の姿をこそ、私達は参考にしたいのです。ある人が書いたのですが、第二バチカン公会議(「五空」)の準備の祈りも同じモデルに従っています。つまり、①マリア様と共に待つこと ②マリア様と共に祈り求めること ③ペトロの指導の下に(ルカ24、29・使徒1、4-8・14参照)の三つです。ではこの一つ一つを取り上げたいと

あなたの母です



ならば、そんな「手作りの教会」は空しいものです。絶えずマリア様と共に心の準備をしながら待つことです。つい私達は、自分の心を神様の心に会わせることを忘れるがちになるのです。
②マリア様と共に祈り求めるこ——この5月に、特にマリア様と共に祈り求める姿が教会の本来の姿です。「マリア様の月」と呼ばれる程、慕われたものだつたのに、その影がどれ程薄くなつたことでしょう。無論、5月だけではありません。マリア様は聖靈の美しい花嫁で、あるべき教会の前印なのに、教会は、ばらばらの状態です。社会のつまづきでさえある様です。この不一致を許して、いやしていただく様に絶えずマリア様の御取りつきを願う以外は何も無いのです。
③ペトロの指導の下に——N.I.C.E.を生かそうと思えば、リーダーシップがもう一つ必要だと感じます。日本教会はペトロ、つまり教皇様の指導を必要としています。どんなご出現よりも、どんな個人的なカリスマよりも、教皇様の方針を深めて、その強い、魅力的なリーダーシップの下に団結しなければなりません。教皇様の教書等を、あまり読まない私ですから、人ごとではありません。まず、5月ですから、教皇様に習つてマリア様に身を捧げて、ロザリオを唱えながら、「み言葉のままに」を新たに黙想したいと思ひます。

①マリア様と共に待つこと——「この天よりの力に包まれるまでは、都にとどまつていなさい」(ルカ24、49)すべてのことを行なわれるのは神様です。一生懸命頑張つて働いても、聖靈の導きを祈り求めない教会

取材レポート

希望の家



地域のよろこびは 希望の家のよろこび

みなさまは、京都教区の中で教会以外の宣教の場をどれぐらいご存知ですか。病院、学校、老人ホーム、その他いろいろな大小さまざまです。そこで編集部では「取材レポート」と銘打ってみなさまにご紹介していきたいと思います。

希望の家の3つの方針

希望の家は、その創立者ディーフリ師の考えを今も一番大事にしている。それは、宗教法人として福音からの出発。これがまず第1の目標である。

第2は希望の家が地域の中に建てられている意味。「ここで住んでいる人といつしょに地域の中でも歩むこと。地域でやりたいことは希望の家のやりたいこと。地域の方針は希望の家の方針。地域の望み、喜びは希望の家の喜び」と、そして第3は、地域の今のいろいろな動き、流れの中で社会福祉法人化にむけて働いていくこと。この3つの方針のもとに希望の家は運営されている。

具体的な仕事は「教育」

さて、この3つの方針のもと具体的な仕事は、
子供の教育・世話
老人の教育・世話
である。

現在、地域に住んでいる老人(65歳以上)は全体の30~40%を占める。その大部分が独居老人である。それに比べ若者は少ない。「若い人が地域で生活していくことがから離れないようにしていくことも考えていかなければならないと思う。」と話す所長の言葉から若者の定着化へむけての動きもこれからの希望の家の大切な役割のように思った。

子供の教育の場「児童館」

さて、この児童館には3~18歳までの子供たちが約60人くらい来ている。「地域の中に塾や学習センターも若干あります。が全体として少ないために多くの子供たちが集まっています。おかげで『子供らしさ』をつくることができます。」

顔、顔。

老人対策—毎週の配食

職員は5人。毎日フル回転であります。またこの児童館には保護者会があり、職員と両親が協力し子供

のおかげでいろいろなことをする

の子供たちが集まるとのこと。小さな子供たちも自由に出入りし、本当にのびのびした子供たちの顔、顔。



毎年(11月)恒例のバザー風景

ことができると言っていた。

その他にも婦人クラブ、成年クラブをしてきたが現在はこの老人対策を優先しているとのことである。

新聞などでも取り上げられていました。開発で地上げがされ、希望の家周辺も歯がぬけたように土地がさら地になっている。このような状況の中で、何も力がないお年寄りたちの今後の保障はどうなっていくのか、老人問題は減ることはなくますます増える一方である。こうした問題を私たちはどうしていくのか、希望の家だけにまかせていくのかなど考えること反省することを取材を通して痛感した。

宗教法人京都司教区「希望の家」

このようなど多くの問題をかかえながら、職員の方は明るく働かれ社会福祉法人化へ向けて努力され
ている。



バザーの時のアトラクション(農楽隊のおどり)

口テスタンントの方はよく勉強会、見学会、研修会、合宿などたくさんしているがカトリックについては少しそれについて知らない部分があると思う。もつと活発に社会の中にある差別問題、在日韓国、朝鮮人の問題、老齢化の問題にダイレクトに関わってほしい。そして、こうしたことを通して新しい教会、ナイスがいう教会にむけて、「関心と活用を希望する」と最後に話をされた。

希望の家 Sr. 沖まで

古着の整理のためのボランティア募集。お手伝い下さる方。左記まで。

皇室の家の職員の方々に紙面
へお礼申し上げます。)

希望の家ができて、31年。ずっと希望の家はそこにある。どこにもいがず、こつこつとその仕事をされてきた。「地域の中で歩むこと」希望の方針の一つである。ナイスは社会と共に言う。私たち京都教区は、この社会と共に生きてきた。そして今も、これからも生きていく希望の家という良いお手本があることを忘れないようにしたい。ともすると海外のことにすぐ目が入ってしまうが、それも大事なことだが、もつと身近な学びの場があることを大切にします。さらに希望の家を、ボランティアを通して、また勉強会を通して活用していく、社会の多くの問題に気づき私たちの生活を見直していきたいと思う。

あなたの良き隣人として
カトリック御葬儀貨物一式(仏式可)
聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎ (075) 312-7829

第29回 京都教区青年鍊成会

日時	6月16日(土)・17日(日)
場所	三重県カトリック研宗館 〒514 津市西丸之内町25-1
会費	社会人 4,000円
申込先	学 生 3,000円
申込〆切	聖母訪問会 Sr原田
主催	〒510 京都市中京区壬生瀬田26 075(821-3284)
京都教区召命促進委員会	6月10日(日)

きいて・きいて・わたしたちのこえ

時報153号「特集 京都教区これからどうなる」に4

人の方からご意見をいただきました。時報編集部では、みな様と意見の交換をしながら、さらにこの問題を深めていきたいと思います。今日は、4名の方からとくに司祭の任期についてご意見をいただきました。

●司祭の任期について

——10年近くの任期は弊害こそあれ何も生まれないものだと思います。司祭も信徒も凡てマンネリになり、肌に合わない人達は、疲れあきらめの状態で、時々耐えるばかりです。3年周期の6年ぐらいが限度ではないでしょうか。個性の強い司祭の場合はなおさらのことです。活性化された教会の中にはこそ若人が育ち、召命も芽生えるのではないかでしょうか。

(三重)

——いろいろな人との関わりが大切だと思われるなら任期を決めて（3年2期でも）異動すべきだと思います。現在の巡回教会も小教区として何年でも留まる事の事。もしこれが本当であれば、日曜日のお説教は一体何なのでしょうか。

(三重)

——今さらという感じですが、10年以上も同小教区にいて、何がよいと言えるのでしょうか。小教区 자체がマンネリ化され、新しい発想もないまま死んでしまっている現状です。早くだいい的な改革が必要です。司祭が常駐しない教会ができたとしても、その方がはるかによい結果ができると思います。任期は2年、3期ぐらいが限度でしょう。（三重）

●結論から言いますと、任期は決めておく方が良いと思います。たつた一人の司祭が10数年も一つの教会にいることはかえって他の司

祭の方々を排除する傾向を生んだり、せつかくの出会う機会も奪うことになると思います。子供たちにも一人の司祭にしか高校生になるまで出会えないというのも残念です。いろいろな司祭に出会えて、そこからそれぞれ、その時期に交流を見出せるものと思います。

(三重)

（京都南部）

●その他、意見の中から

——司祭の高齢化というなら一教会に一司祭をおかず、グループで一ヶ所に住みいくつかの教会を担当するということも考えてみてはどうでしょうか。一人暮しで何かあっても大変ですし、司祭も安心して生活できるんじゃないですか。

——になつたつていんじやないですか。ですが、私は結局この問題は、個人・集団のエゴだと思います。でも、私たちの立場からすればこのような意見を言つても司教、司祭の決定にまかせなければならぬのです。ですから具体化にむけて動くことにはまず司祭自身のエゴに気づいてもらうしかないと思います。「適正配置」の問題は他にも多くのことを含んでいふことは思いますが、私は切に根本は司祭の問題だということに気づいてほしい。

そこで、編集部では具体案を考えました。まず、現在の仕組みを機能させるよう努力する。人事委員会を別につくる。その他の方法として司教の権限を強化して、以前のやり方にもどす。アメリカなどで試みられている方法ですが、司祭が小教区に立候補し、信徒会と話し合つて着任する方法。逆に、信徒が司祭を招請する方法。いささか突飛な発案かも知れませんが、人間的な選択を一切やめて、くじ引きなどで決める方法。(12番目の使徒マチアはくじで選ばれました)

——一つの提案ですが、何会が何県を司牧するなどと小さく決めてしまわずに、司祭は司祭なのですから、教区も修道会も宣教会も、都合のつく方が散らばつてもっと自由に着任していくだけたら、色々なカラーによる靈性を信徒は頂けると思います。みんなさんはどのような方法がよいと思われますか？その他小教区の場所の問題は？

みなさんのご意見をお待ちしています

——異動の要請がありまして、小教区の司祭が「否」と表明されれば、そのまま許されてしまうか。噂に聞きますと、異動の要請があまりしても、もしこれが本当であれば、日曜日のお説教は一体何なのでしょうか。

(三重)

——いろいろな人との関わりが大切だと思われるなら任期を決めて（3年2期でも）異動すべきだと思います。現在の巡回教会も小教区として考へ、聖香油ミサの時でも京都教区内すべての小教区を対象にくじ引きをして決めるというのもいいんじやないですか。河原町教会が巡回教会

つなづうネットワーク
深めよう「ワードケーション」

今年一月に、青年センター一周年の集いが行われたことは御存知のことと思います。その後、青年センターは、この4月に事務局が移転、事務局スタッフも変わりました。それに先立ち、梅の芳香漂した。う3月に運営委員である各プロツクの青年たちを中心に合宿をしました。

定例の運営委員会とは違つて、議事などからは離れ、「明日の教会を考える♥本音の集い～キリスト者として・青年として生きることとは?」という根本的なテーマで分かち合うことで、私たちは2年目の春を迎えたのです。

教会は、祈りは、青年会は
：そしてキリストは。その
答えが「何となく」という
ことなら、なおさらこのよ
うな分かち合いが必要なの
かも知れません。話してい
るうちに「何となく」の中
味が見えてくるのが不思議
です。

色々な場面でぶつかつて問題は、青年たちの集ま
教会で出されているですか。信仰は共に分かち合
育していくものではないでしょうか。ひとりひとり
性は様々で、ある人は活
も、共に考えるうちに、
るのです。

「Giovani⑧」を見て頂けましたか。（小教区や青年会で手に入らない方は御連絡下さい！）

今回の人气連載マンガ「サムソン 神父」は：スゴイ、これを読んで「現代社会にあって、青年一人一人が、交流を深め、キリスト者として、生きる喜びと共に分かち合い、育て合う（青年センターの理念）」を、思い起こしています。

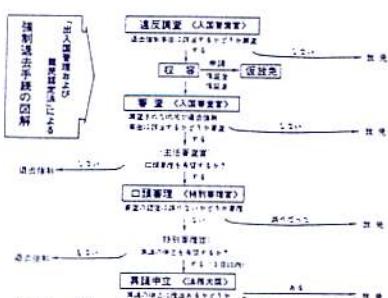
★青年センター（教理センター二
条オフィス内）の開館時間です

火・土曜	10時～18時
日曜	12時～18時
休館日	月曜日・祝祭日
★青年センターの運営・活動のための援助をお願い致します	

振替 京都 8・30781
「京都カトリック青年センター」

外国人登録法の 改正を要求（て）

指紋押なつ拒否をして4年



格外外国人労働者と同じで、警察につかまれば、すぐに送り返されるでしょう。1年半の間に入管の動きに何かあれば、まだ廊下からは出ないで続けていたと思う。だけど何もかわらなかつた。このまま同じ状態でいても何もならない。法律の出口にいつたん出るために入管へ行きました。1年半もほっておいたのに、入管局は数時間の調査と法務大臣の裁量で、スポーツに判を押したのです。ぼくは指もんを押したのではない。彼等は、法律の手続きが最後まで進められたことに満足していた。

京都教区時報No.137('88年10月号)より

